

町村合併のうごき



未来を担う子供たちへ

中学校で村長

「町村合併について」講演

11月13日、開田中学校において村長による町村合併についての講演が開かれました。

町村合併という議題の性質上、村の財政などの難しい話もありましたが、生徒たちはみな自身自身の将来のことと重ね合わせ、真剣に話を聞いてくれました。

質疑応答の場面では、「合併したら開田中学校はどうなってしまうのか」「3つある高校は統合されてしまうのか」など、中学生らしい質問が出され、村長は「合併して学校がなくなるような住民サービスの下下は避けるべき」と答えました。また、「合併したら新地蔵トンネルは自転車で行けるようにしてほしい」など、大人にはない発想の要望が出され、答に苦慮する場面もみられました。

村長は講演を終えるにあたり、「毎回中学校まで伺ってみなさんと意見を交換で



きないのは残念ですが、分からないことなどがありましたら、ぜひ役場までご連絡下さい」と締めくくりました。

中学生のみなさん、合併についての疑問や質問がありましたら、役場までお問い合わせください。

各種団体役員との懇談会

～開田村議会～



12月13日、母子健康センターにおいて議会主催の「町村合併に関する懇談会」が開催され、村内の各種団体の代表者約30名の参加がありました。

初めに助役から任意合併協議会での進捗状況が説明され、その中で新聞報道のあった「総合支所方式」についての説明がありました。

また、村長からは「新聞報道によれば、一万人以下の町村に対する締め付けが強化される方向にある」など、小規模町村を

とりまくさまざまな問題が報告されました。

引き続き行われた質疑応答では、参加者から「時代の流れとしてもっと前向きに合併を進めるべき」「協議会ではもっと活発な討論を」などの意見が出されました。

なお、今後法定協議会の設置を前に地区説明会が行われる予定です。現時点では詳細は未定ですが、日程等決まり次第広報等でお知らせしますので、多くの方のご参加をお願いします。